

演劇・映画の
専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

■ No. 277(2021年4月) ■

令和3年4月9日発行

≫≫ お知らせ

■大佛次郎記念館『これぞ！大佛歌舞伎』展へ資料を展示提供しました

2021年4月24日(土)より9月5日(日)まで、横浜山手町の大佛次郎記念館において『これぞ！大佛歌舞伎』展が開催されます。当館からは、昭和34[1959]年10月歌舞伎座公演ポスターを展示提供いたします。この興行で、大佛次郎作・演出の『殺生関白』が9代目市川海老蔵(後の11代目市川團十郎)主演で上演されており、ポスターには9代目市川海老蔵が関白秀次に扮した写真が興行情報とともに載っています。なお、当館のポスターの展示は6月いっぱいのご予定となっております。薔薇の季節には大佛次郎記念館へ是非お運び下さいませ。

■開催情報■『これぞ！大佛歌舞伎』

会場：大佛次郎記念館／住所：〒231-0862 横浜市中区山手町113番地 電話：045-622-5002

会期：2021年4/24(土)～9/5(日)／開館時間：10:00～17:30(最終入館17:00)

休館日：毎週月曜(祝休日の場合は翌平日)

URL：<http://osaragi.yaf.jp.org/>

▼大佛次郎記念館「新型コロナウイルス感染症対策に関するお知らせとお願い(2021.3.22～4.21)」はこちら

<http://osaragi.yaf.jp.org/info/5966/>

■■■ ミニ展示「歌舞伎座チケット袋」展関連資料をご紹介します(その3) ■■■



上(チラシとチケット袋):昭和43[1968]年11月「明治百年記念 十一月顔見世大歌舞伎」
下(チケット袋):昭和42[1967]年3月「花形歌舞伎奮闘興行」

現在当館閲覧室では、ミニ展示「歌舞伎座チケット袋」展を4月30日(金)まで期間を延長して開催中です。現在前日までの予約制でご利用頂いているため、展示の観覧につきましてもご不便をおかけしております。今回もニューズレターで「歌舞伎座チケット袋」展の関連資料をご紹介します。

写真は、どちらも『通し狂言 仮名手本忠臣蔵』が上演されたときのチケット袋です。

左の写真は、上が昭和43[1968]年11月「明治百年記念 十一月顔見世大歌舞伎」のチラシとチケット袋、下は昭和42[1967]年3月「花形歌舞伎奮闘興行」のチケット袋です。それぞれ「高家表門」、「赤穂浪士の羽織のだんだら模様」が描かれています。このように、チケット袋には演目にちなんだ絵柄が採用されることもありました。

また、右の写真はこのふたつの忠臣蔵興行のチケット袋の内側を写したものです。昭和期のチケット袋は内側に興行の内容が印字された時期がありました。併せて劇場の電話番号なども記されており、当時携帯電話などがなかった時代ですので、このようなチケット袋は、観劇や興行の必要な情報が得られる大事なツールだったのかもかもしれませんね。



袋の内側に興行内容が印字されている

■「歌舞伎座チケット袋」展■

展示期間：2021年1/12(火)～3/24(水) 4/30(金)まで期間延長

展示場所：松竹大谷図書館 閲覧室

展示をご覧になる場合も、前日までにご予約の上ご来館下さい。※開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館の[HP](#)、[Facebook](#)の投稿をご確認下さい。また、お電話でもご案内いたしますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。電話：03-5550-1694(平日:10時～16時※短縮中)

■歌舞伎座筋書を立命館大学アート・リサーチセンター(ARC)に搬出したしました

3月の整理休館中に、戦前の歌舞伎座の【絵本番付】と【筋書】を、デジタル・アーカイブ化作業が行われる立命館大学アート・リサーチセンター(ARC)へ発送しました。戦前の歌舞伎座の筋書につきましては、今後、原資料は保護のため閲覧が出来ません。内容の閲覧につきましては、デジタル・アーカイブ化作業を進め、データが【芝居番付検索閲覧システム】に搭載されて公開されるまで、今しばらくお待ちください。現在、作業終了日は未定で、データが公開されるまでの期間、大変ご不便をお掛けしますがどうぞご了承ください。写真は3月休館中の作業の様子です。上2枚の写真は和綴製本をした合本の解体作業です。板目紙を表紙にして製本用の麻糸で綴じてあるだけなので、比較的簡単に解体する事が出来ます。下3枚の写真は、搬出する資料を1点ずつ確認しながら、搬出用に準備した封筒に合本単位で入れていく作業です。事前入力済の資料リストと照合しながら落丁・乱丁の部分を確認するなど細かくチェックしました。終了後4箱の段ボールに梱包し、ARCへ発送しました。今回も大量の資料のデジタル化作業をお引き受け下さいましたARCの皆様には厚く感謝申し上げます。



スタッフ4人ががんばりました！

≫≫ 資料提供 (2021年2～3月)

※許可を得た方のみ掲載しております

【出版】『漢方見聞録』2021年2月1日株式会社ハーバルアイ 川上音二郎肖像写真他を提供／『歌舞伎特選 DVD コレクション第39号』2021年2月10日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に『舞曲扇林』を提供／『週刊現代』2021年2月22日講談社 連載「昭和の怪物シリーズ山村聰編」に演劇スチール『三等局長』を提供／『歌舞伎特選 DVD コレクション第41号』2021年3月10日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に『歌舞伎いろはかるた』を提供

【放送】「開運！なんでも鑑定団」2021年3月2日テレビ東京 歌舞伎映画『鏡獅子』を提供

【その他】歌舞伎ARアプリ「INTO by Shochiku」ARコンテンツ「Reverse Reality～KABUKI Performance“Shakkyo”～」2021年2月10日松竹株式会社 組上燈籠絵『石橋』を提供

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 演劇雑誌 ■

『Bandaly』20号/『Confetti』Vol.195/『the座』106号/『あぜくら』2021年3月号/『えんぶ』2021年4月号/『ほうおう』2021年5月号/『ステージびあ』2021年1+2月号/『テアトロ』2021年4月号/『ミュージカル』2021年3月-4月号/『ラ・アルプ』2021年4月号/『演劇界』2021年5月号/『喝采』2021年6月/『芸劇BUZZ』Vol.35/『御園座演劇図書館 Newsletter』Vol.36/『国立演芸場公演ガイド』令和3年4月号/『大向う』令和3年4月号/『日本芸術文化振興会ニュース』2021年4月号/『日本照明家協会誌』2021年3月号/『日本舞踊』73巻4月号/『舞台芸術通信 PROBE』15号

■ 映画雑誌 ■

『SCREEN』2021年5月号/『TVガイド』2021年3/12号,3/19号,3/26号,4/2号/『おとなのデジタルTVナビ』2021年5月号/『アンドレ・バザン研究』5号/『キネマ旬報』2021年4月上旬号,4月下旬号/『シナリオ』2021年5月号/『シナリオ教室』2021年4月号/『シネビ・エイジ』No.688, No.690/『ドラマ』2021年4月号/『ムービー・スター』2021年5月号/『ロケーションジャパン』2021年4月号/『映画テレビ技術』2021年4月号/『映画ビジネス』1180号,1183号,1184号,1185号,1189号/『映画撮影』No.227/『映画時報』2021年3月号/『映画秘宝』2021年5月号/『映画論叢』56号/『松竹[社報]』222号/『日経エンタテインメント!』2021年4月号/『日本アカデミー賞協会会報』88号

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『騙し絵の牙』	○	○	○		○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■ (順不同)

『トムとジェリー』『種まく旅人 華蓮のかがやき』『野球少女』『ステージ・マザー』『ガンズ・アキンボ』『라이어×라이어』『どん底作家の人生に幸あれ!』『キング・オブ・シーヴズ』『秘密への招待状』『Endless SHOCK』『名探偵コナン 緋色の不在証明』『GET OVER JAM Project THE MOVIE』『ブレイブ 群青戦記』『すくってごらん』『ラーヤと龍の王国』

■ 松竹系3月演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『猿若江戸の初櫓』	○	○		
	『戻鴛色相肩』	○	○		
	『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』	○	○		
	『雪暮夜入谷畦道 直侍』	○	○	○	○
	『楼門五三桐』	○	○		
	『隅田川』	○	○		
	上『雪』/下『鐘ヶ岬』	○			
新橋演舞場	『舟木一夫シアターコンサートin新橋演舞場』			○	○
	『未来記の番人』			○	○
	『レビュー春のおどり』	○		○	○
松竹座	『ANOTHER』			○	
南座	『歌舞伎の魅力』	○			
	『義経千本桜 吉野山』	○		○	○
	『義経千本桜 川連法眼館』	○			
博多座	『大阪ざらい物語』	○		○	
	『藤山寛美歿後三十年口上』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 (1-3月) ■ (順不同)

宮古市民文化会館プロデュース『岬のマヨイガ』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/『かたき同志』明治座台本/『艶歌の桜道』明治座台本/ワンツーワークス『ジレンマジレンマ』赤坂 RED/THEATER プログラム、台本/名取事務所『東京ブギウギと鈴木大拙』下北沢小劇場 B1 プログラム、台本/『マシーン日記』シアターコクーンプログラム/『ローズのジレンマ』シアタークリエプログラム/『国立劇場 3月歌舞伎公演』国立劇場大劇場プログラム/『第 195 回邦楽公演』国立劇場小劇場プログラム/『第 215 回文楽公演』国立劇場小劇場プログラム、床本/『第 161 回文楽公演』国立文楽劇場プログラム、床本/『第 29 期文楽研修了発表会』国立文楽劇場プログラム

»» 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■ (順不同)

『忠臣蔵外伝「その日の吉良邸」』『<ヤミ市>文化論』『beyond 2020 LEGACY レガシー 歴史を受け継ぎ、新しい未来へ』『STARS OF THE TOKYO STAGE』『日本の色の十二月』『和の文化をうけつぐ日本の伝統もよう 3』『和紙歌舞伎人形のひとりごと』『銀座くらま会 90 銀座の粋と心意気』『唯是震一主要作品年表(主な音楽活動年譜)』『説経 人は神仏に何を託そうとするのか』『浄瑠璃と謡文化 宇治加賀掾から近松・義太夫へ』『説経稀本集』『新作浄り めをと山賊 食満南北遺稿集』『同時解説イヤホンガイド』『養成プログラム演劇の再生 平成 20 年度』『向井芳樹著述集』『演劇の課題 2』『YCAM YEARBOOK 2017 - 18』『Bunkamura, 25th Anniversary』『画家・映画監督・歌舞伎俳優・バレエダンサー(職場体験完全ガイド 40 芸術にかかわる仕事 2)』『につぼん芸能史』『アミューズメントの感性マーケティング 早稲田大学ビジネススクール講義録エポック社社長、スノーピーク社長、松竹副社長が語る』『食満南北著『大阪藝談』』刊行記念展示「食満南北」図録』『大阪藝談』『歌舞伎と文楽のエンパク玉手箱』『ベトナム舞台芸術関係者中期招へい事業(VPAM) 報告書』『舞台の上のジャポニズム 演じられた幻想の<日本女性>』『能面 三井記念美術館所蔵 旧金剛宗家伝来』『一芸一談』『歳々 年々、藝同じからず 米朝よもやま噺』『落語とメディア』『米朝よもやま噺』『桂吉坊がきく藝』『藝、これ一生 米朝よもやま噺』『特別展 暁の劇場 鷗外が試みた、或る演劇』『没後二十年記念藤沢周平 映像の世界』『<義経>のことがマンガで3時間でわかる本』『源氏物語の世界 瀬戸内寂聴と新たな展開』『ビジネスマンへの歌舞伎案内』『群翔』『人文論究 特別記念号 歌舞伎と文化の伝承 中村吉右衛門先生をお迎えして』『高麗屋の逸品』『21 世紀の淀川長治』『筑紫哲也の小津の魔法使い』『映画は社会学する』『昭和の女優 官能・エロ映画の時代』『革新せる向島撮影所』『最新版香港映画ビデオガイド』『日仏映画往来』『小津映画粋な日本語』『本木雅弘×真鍋大度 仕事の極意』『押啓渥美清様』『the Guide to Japanese Film Industry & Co-Production 2010』『the Guide to Japanese Film Industry & Co-Production 2009』『文化はめぐる 文化アーカイブズ活性化シンポジウム』『原作と同じじゃなきゃダメですか?』『水島あやめの生涯 日本初の女流脚本家・少女小説作家』『結局、日本のアニメ、マンガは儲かっているのか?』『幻燈スライドの博物誌 プロジェクション・メディアの考古学』『反転する吉原の価値 泉鏡花「恋女房」における「人」と「魔もの』』『新派劇(婦系図)と原作テキスト 泉鏡花「湯島の境内」を視座として』『喜多村緑郎文庫『藤十郎の恋』 台本翻刻と異同について』『あゝ新宿 スペクタクルとしての都市』『ハムレット、東北に立つ 東北弁シェクスピア劇団の冒険』『芝居上手な大阪人』『演劇の思想 鈴木忠志論集成 II』『演劇の思想 鈴木忠志論集成』『幕が上がる』

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。
何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）令和 3[2021]年 3 月にご支援いただきました法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座	松竹音楽出版株式会社
歌舞伎座サービス株式会社	松竹芸能株式会社
歌舞伎座舞台株式会社	株式会社松竹サービスネットワーク
有限会社合同通信社	松竹ブロードキャスティング株式会社
松竹株式会社	株式会社松竹マルチプレックスシアターズ
松竹衣裳株式会社	
株式会社松竹映像センター	

どうもありがとうございます

■■ 松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い ■■

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております
《現在のご利用について》

- 開館時間 10:00～16:00(短縮しております)
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日 10時～16時)


《ご予約について》

- ★10時から16時まで、1時間ごとに最大2時間までご予約頂けます。
- ★ご予約の際、お名前、人数、ご希望日時、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★一日のご利用冊数は、18冊まででお願い致します。
- ★一度利用された資料は同日にはご利用頂けません。先に閲覧予約が入っている場合、使用をお断りする場合があります。
- ★展示をご覧になる場合も、ご予約の上ご来館下さい。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/210105.html>

今後、開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時お電話でのご確認や、当館の[HP](#)、[Facebook](#)の更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくご申し上げます。

▲ 至銀座 昭和通り ● 歌舞伎座 東銀座駅 ■ (5番出口) 晴海通り ● 映画館・東劇 ● 京橋郵便局 至晴海 ▼	● 銀座松竹スクエア ★ 松竹大谷図書館 (晴海通り側E.Vで3階へ)	編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館 〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 3階 / TEL 03-5550-1694 公式 HP ● http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/ 公式 Facebook ● https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/	
	● 利用案内 ● 【開館時間】平日 10:00～16:00(短縮しております) / 【休館日】土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します / 【閲覧】館内閲覧のみ / 【入館料】無料 / 【コピーサービス】A4 1枚 白黒 50円、カラー 150円・B4 1枚 白黒 100円、カラー 300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります ● 資料検索 ● https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/ ● 交通案内 ● 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅 5番出口より徒歩 3分 東京メトロ有楽町線 新富町駅 1番出口より徒歩 8分		